



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和4年12月1日

発行者 園長 末永 寿宣

12月号

「10の姿」⑩豊かな感性と表現

～表現する喜びを味わい、意欲をもつことを願って～

園長 末永 寿宣

子ども自身が思い思いに表現する楽しさを大切にしていくことが、豊かな感性や表現する力を養う上で重要となります。小学校の学芸会を鑑賞し刺激を受けたり、子どもが心の中で感じたことを自由な発想で表現したりするうちに、表現方法や素材を工夫することの面白さに気づき、表現の幅を膨らませられるようになります。

本園では、多様な表現技法や道具などを経験できるように環境を整えるとともに、協同して作りあげる活動を取り入れたり、表現のよさを伝え広めていったりといった援助に力を入れています。

それでは、その実践の一端を11月の活動の中からご紹介いたします。

3歳 もも組 第三日暮里小学校の学芸会・

1年生の劇「おたまじゃくしの101ちゃん」を見ました。何が始まるかみんな緊張した様子でしたが、劇が始まるとその迫力に見入っていました。



黄色・水色・オレンジの絵の具を使ってスタンプングをしました。なぜ四角い形になるのか、色が重なる部分がにじむ様子を不思議そうに見つめていました。

日ごろから遊び親しんでいる「はしるよ！しんかんせん」のリズムに合わせて、カスタネットやスズで楽器遊びをしています。踊りながら、楽器を鳴らすなど、思い思いに表現することを楽しんでいます。



4歳 たんぽぽ組

ハロウィンパーティーごっこをしました。子どもたちそれぞれがなりたいものをイメージして作った衣装やお菓子を入れるバッグを持って、先生や友だちに、「トリックオアトリート!」と、楽しそうに言いながら幼稚園をまわりました。セロファンや画用紙で作った飴をあげたりもらったりすることも楽しい様子で、繰り返し遊び楽しみました。

好きな遊びの時間に、ペットボトルキャップとセロハンテープの芯を筒に入れて回すと、2つが重なることに気づきました。それを「マジックだよ!」と、友だちに見せることを楽しみながら遊んでいます。周りの子どもたちも、様々なことを試しながら「マジック」を考え、披露しています。



5歳 すみれ組

東京藝術大学の講師の先生方と一緒に、洋服づくりをしました。カラフルに染めた布の中から、自分が気に入った部分を切り取り、様々な飾り付けをしました。イメージが溢れる素敵な作品ができました。

ふらっとにっぽりを会場に、カラフルファッションショーを行いました。オリジナルの衣装をまとい、お気に入りのポーズを決めてショーを行いました。大勢のお客さんの前で緊張する姿もありましたが、ショー終了後には「もう一度やりたい!」「楽しかった!」とそれぞれが自信や充実感を味わった言葉が多く聞かれました。お世話になった東京藝術大学の先生方にも親しみの気持ちが高まり、名前を呼んだり、自ら関わったりしていました。幼稚園に帰る途中、地域の方が声を掛けてくださったり、よく見てくださり、地域に今回の活動を発信することもできました。帰園後は、たんぽぽ組の友だちがショーの感想を伝えに来てくれて、年長児としての自信を高めていました。

